

第 75 回沖縄県高等学校野球秋季大会

令和 7 年 9 月 20 (土) ～10 月 12 日 (日)

主 催：一般財団法人

沖縄県高等学校野球連盟

共 催：琉球放送株式会社

沖縄タイムス社

後 援：沖縄県教育委員会

朝 日 新 聞 社

会 場：エナジックスタジアム名護

金武ベースボールスタジアム

嘉 手 納 野 球 場

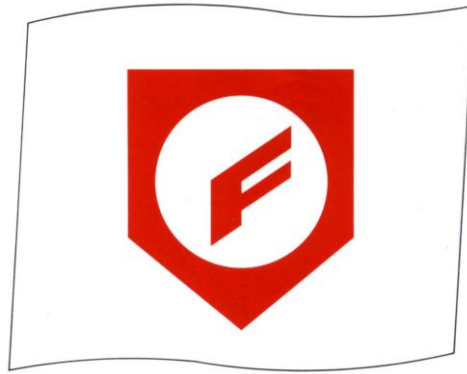
コザしんきんスタジアム

エニヅですからスタジアム宜野湾

沖縄セルラースタジアム那覇

大会要項

(2025 年 8 月 14 日)



一般財団法人

沖縄県高等学校野球連盟

第 75 回沖縄県高等学校野球秋季大会 大 会 要 項

主 催：一般財団法人
沖縄県高等学校野球連盟
共 催：琉球放送株式会社
沖縄タイムス社
後 援：沖縄県教育委員会
朝 日 新 聞 社

1. 期 日 令和7年9月20日(土) ～ 10月12日(日) 雨天順延
2. 会 場

エナジックスタジアム名護	名護市宮里 2-1
金武ベースボールスタジアム	金武町字金武 11053
嘉手納野球場	嘉手納町字屋良 875
コザしんきんスタジアム	沖縄市諸見里 2-1-1
エオンですからスタジアム宜野湾	宜野湾市真志喜 4-2-1
沖縄セルラースタジアム那覇	那覇市奥武山町 42-1
3. 大会申し込み 本大会に参加を希望する加盟校は、沖縄県高野連 HP (<http://www.kouyaren-okinawa.jp/>) に掲載されているエントリー用紙にて電子メールで申し込みをして下さい。
※不参加の学校も含め、加盟校は全校メールして下さい。
4. 申し込締切り 令和7年8月18日(月) 正午までに電子メールにてエントリーする。
5. 抽 選 会

令和7年8月21日(木) 午後2時
会場：吉の浦会館 中城村安里 187-1

①参加者
各参加校(連合チーム含む)の主将 + 責任教師および監督(各校3名以内) および大会役員。
上記に加え、WBSC でアナウンスを務める生徒がいれば、その生徒も参加すること。

②抽選に当たってはシード制を採用する。
(1: エナジックスports 2: 日本ウェルネス沖縄 3: KBC 4: 沖縄尚学)
6. 選手資格証明書

参加校は、野球競技者登録システム「野球ねっと」で大会申し込み申請を行い、システムから出力される選手資格証明書に学校長および学校医印を押印後、PDFデータ(カラー)として1部を沖縄県高野連事務局のメールアドレスまで、電子メールにて添付送信すること。

処理期限(選手資格証明書PDFのメール送信〆切)
令和7年9月17日(木)正午12時まで。 **この日時以降は、選手変更はできません。**
7. 登録変更について

選手資格証明書提出後の選手登録変更は認めない。
ただし、感染症にかかる選手変更については、別途定める。
8. 大会諸経費

①入場整理券(大人600円、中高生200円)をもって充当する。
②中高生の団体割引については、引率者を含む20名以上は100円とする。
③剰余金が生じたときは、本連盟運営費に繰り入れ、不足の時は同運営費から充当する。
9. 大会組織及び運営

①参加校は日本高等学校野球連盟に加盟している学校代表チームによって行う。
②主催者で運営委員会を組織し、大会運営に万全を期す。
③大会役員は運営委員会で適任者を選び委嘱する。審判委員は県高野連審判部が担当する。

10. 表彰及び派遣 ①優勝校へは賞状、優勝旗、優勝楯を授与する。
②準優勝校へは賞状、代表旗、準優勝楯を授与する。
③本大会の優勝校及び準優勝校は宮崎県で開催される第 157 回九州地区高等学校野球大会
【10 月 25 日（土）～ 10 月 31 日（金）】に出場させる。（抽選会 10 月 17 日（金）予定）
11. 閉 会 式 決勝戦終了後、優勝、準優勝の両校で行なう。

※連合チーム（レンタル含む）での参加を予定している学校は、「連合チームによる大会参加承認申請書」を 7 月 31 日（木）12 時までに（期限厳守）、沖縄県高野連事務局宛に提出して下さい。とりまとめて日本高野連へ申請します。

入場料等に関する詳細

- (1) 入場料は、大人 600 円、中高生 200 円、小学生以下は無料。
※試合のある学校の学校職員は、「職員証」を提示していただければ、入場料は徴収いたしません。
（「職員証」は、試合がある当該校の職員であることが証明できれば、その様式等は問いません）
※一般生徒（試合がある当該校の生徒）が 20 人以上の場合、各学校で作成した「団体券」を提示すれば、入場料を一人 100 円とする。
- (2) 小中高の野球チームは、希望すれば団体で観戦できる。ただし、観戦場所は大会役員の指示に従うこととし、1 団体に対して 1 人の大人（責任者）がチームの掌握にあたり、感染対策や熱中症、ケガや事故等の予防に責任をもつこと。責任者 1 人を含め入場料は徴収しない。
※団体とは、原則として、児童・生徒 20 人以上とする。
- (3) 第一試合が終了したら、原則として払い戻しは行わない。
※第一試合が「継続試合」になった場合は、払い戻し等の対応を行う。

第 75 回沖縄県高等学校野球秋季大会 細則

1. 試合規則は、2025 年公認野球規則と大会特別規定により運営する。
2. 選手資格は、令和 7 年 4 月 2 日現在で満 18 才（平成 19 年＝2007 年 4 月 2 日以降の出生者）以下の者。
3. 大会期間中の不測の負傷または疾病に対して、主催者は応急の手当を施す他は責任を負わない。
4. 第 1 試合の出場チームは、試合開始90 分前には所定の球場に到着し、大会本部よりオーダー用紙を受け取り記入後、直ちに提出すること。その後放送により責任教師・主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。（オーダー用紙交換は試合開始50 分前に行なう。）※オーダー用紙には、当日ベンチ入りする責任教師・副責任教師を記入してください。
5. 第 2 試合目以降の出場チームは、球場到着後、大会本部でオーダー用紙を受け取り、4 回終了までに大会本部に提出すること。オーダー用紙交換は 5 回終了後に行なう（放送を行なう）。責任教師と主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。選手はいつでも試合ができるよう準備をしておくこと。
6. ベンチサイドは、抽選番号の若いチームを一塁側とする。
ベンチには登録の責任教師 1 名、副責任教師 1 名、監督 1 名、選手 20 名、記録員 1 名の計 24 名以内とする。
7. 責任教師か副責任教師がノックした後は、ユニフォームのままでもベンチ入り可とする。
8. 試合前のシートノックは 5 分間または行わない事も選択できる。ノック時の補助選手は 5 名までとし、必ずヘルメットを着用すること。又、登録メンバー以外は、ノックを受けたり守備に入ってはいけない。
9. シートノック時のノッカーは、選手と同じユニフォームを着用し、黒または白のスパイクおよびシューズとする。補助選手も試合用ユニフォームを着用すること。
10. 記録員は男女にかかわらず、自校の制服を着用すること。複数の記録員のいる場合は毎試合代わってもよい。
11. 打者・走者ともに危険防止のため、必ず SG マーク（経産省認可）両耳付きヘルメットを着用する。
12. 捕手は防護用ヘルメット（SG マーク付）とスロートガード（のど部分の防護具）、カップを必ず使用すること。また、練習時を含め、捕手は座って投球を受けるときは必ず捕手用具一式を着用すること。
13. 試合中、攻守交代は全力疾走に徹すること。
14. 攻撃側の選手は、次打者・ランナーコーチ以外はベンチから出ないこと。次打者席には、必ず次打者が入り、投手が投球姿勢に入ったら素振りを止める。危険防止のため、グラウンド内にいる全ての選手（特に次打者、ブルペンの選手）は投手が投手板に位置したならばプレイに注目すること。
15. ベンチ内のメガホンは 1 個のみとする（監督のみ使用）。
16. グラウンドに入ってアップを開始するときは、試合用のユニフォームを着用すること。ただし、第 1 試合目のチームに関しては、ランニングまでは、チーム統一のシャツを認める。キャッチボールからは、ユニフォームとする。
人員は 25 名以内とする。※2 試合目以降のスパイク着用 時期に関しては、球場で異なるので注意してください。
17. 危険防止のため、球場内におけるフリーバッティング、ハーフバッティングは禁止する。また、球場内においてのウォーミングアップ及びランニングで外野の芝生を使用する際は、アップシューズを使用すること。
18. 試合中、ベンチ前でのキャッチボールは 2 組（4 人）まで並列とし、ゴロの捕球練習は認めない。
19. 野球用具の使用については、日本高等学校野球連盟の用具使用制限に適合したものを使用すること。
20. 5 回終了後のグラウンド整備に関しては、5 分間程度とする（熱中症対策含む）
21. タイブレークの場合は、10 回終了後グラウンド整備に入り、5 分間程度とする（熱中症対策含む）
《応援団について》
 1. 応援は高校野球にふさわしいものであること。品位と節度をもったものでなければならない。
 2. 大会期間中の応援団の行動は、責任教師がその責任を負う。
 3. 手指消毒など、基本的な感染拡大防止に努めること。
 4. ブラスバンド以外の太鼓については、洋太鼓・和太鼓いずれかを 1 個とする。
 5. 応援団は、試合中は場内の整理と感染拡大防止、試合終了後はスタンドの清掃に協力する。
 6. 個人名や校名を記入したノボリ等、テープ・紙ふぶき等、タオル等を振り回しての応援は禁止。
 7. 応援団の校章旗・横断幕等は指定場所に掲げること。

大会特別規定

1. シートノックは試合前、大会本部の指示に従い行うこと。5分間または行わない事も選択できる。但し天候事情で、行わないこともある。シートノックの補助員5名以内と補助ノッカー(登録外)1名を認める。
2. 本大会はタイブレーク制度を採用する。タイブレークは10回、無死1塁・2塁からとし、打順は9回終了時の打順を引き継ぐものとする。(決勝戦もタイブレークを適用する)
3. 1週間500球以内の投球とする。
4. 本大会では、得点差によるコールドゲームを次のとおり定める。
 - ① 5回以降10点以上、7回以降7点以上の得点差が生じた場合。
 - ② 決勝戦では、コールドゲームを適用しない。
5. 降雨中断後、30分毎に判断し、グラウンド整備を行ない90分をめどに試合続行が可能な場合は再開し、不可能と判断した場合は、審判委員が当該試合の当日の試合の打ち切りを命じ、継続試合とする。継続試合の日程や球場については、主催者が決定する。
6. 最終試合の開始時刻は日没2時間30分以前とする。
7. 日没、その他の事情で試合の続行が不可能になった場合は、審判委員が当該試合の当日の試合の打ち切りを命じ、継続試合とする。継続試合の日程や球場については、主催者が決定する。 ※継続試合については決勝戦でも適用する。ただし、照明設備があり、照度確保できると判断した場合は、その限りではない。
8. 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判委員が判断した時は、相手チームに事情を説明し臨時の代走者を許可することができる。この代走者は試合に出場している選手に限られ、チームに指名権はない。
 - ・臨時代走はその代走者がアウトになるか、得点するか、またはインニングが終了するまで継続する。ただし、塁上にいる臨時代走者が次打者となるケースにおいては、その臨時代走者に代えて打撃を完了した直後の者を新たな臨時代走者とする。
 - (1) 打者が死球などで負傷した場合
投手を除いた選手のうち、打撃を完了した直後の者とする。
 - (2) 塁上の走者が負傷した場合
投手を除いた選手のうち、その時の打者を除く打撃を完了した直後の者とする。(参考) 臨時代走者の記録上の取り扱いは、盗塁、得点、残塁などすべてもとの走者の記録として扱われる。
9. 審判委員の判定には、絶対に抗議することはできない。但し、ルール適用の過ちがおきた場合は申し出ることができる。疑義を申し出る場合は主将、伝令、または当該選手に限る。
10. 審判委員へのアペールは、必ず主将及びそのプレーの当事者が行なうこと。
11. 試合中トラブルが生じ、試合続行が不可能な場合は、トラブルを引き起こしたチームを敗者とし、没収試合とする。
12. 打者がバッターボックスに入る時や投手が審判委員からボールを受け取る際は、帽子を取って礼をする必要はない。
13. 試合中は、ベンチ入りできない者(登録選手以外の部員・OB・保護者等)をベンチや選手控え室に出入りさせたり、ベンチ周辺に近づけない。
14. 試合中ベンチ内での携帯電話、タブレット、パソコン、スマートウォッチなど通信機能のある電子機器の使用を禁止する。スマートウォッチに関してははずしてもらう。
15. 走者やベースコーチ等が捕手のサインを見て、声やジェスチャーで打者にコースや球種を教える等の行為を禁止する。
16. サイズの大きい走者用手袋の使用とグラブの手首へのリストバンド装着は認めない。

第 75 回沖縄県高等学校野球秋季大会開催細則

1. 開 会 式 (今回は実施なし)

2. 閉 会 式

- 1 決勝戦終了後、優勝チーム、準優勝チーム、大会役員、審判委員、来賓で行う。
- 2 決勝戦が終わり次第、両チームの選手は投手板を中心にバックネットに向かって一列横隊に整列する。
- 3 大会役員、審判委員、来賓及び両校の校長、責任教師(正副)、監督はバックネット前に整列する。

閉会式次第 進 行 瀬 底 智 樹 （ 高 野 連 総 務 部 長 ）

1	開	会					
2	成	績	発	表			
3	表			彰	大	会	長 眞榮田 義光 (高野連会長)
4	大	会	長	挨拶	大	会	長 眞榮田 義光 (高野連会長)
5	激	励	の	こ	大	会	副会長 瑞慶山 秀彦 (沖縄タイムス社代表取締役社長)
6	国	旗	並	び	に	大	会
7	閉	会	宣	言	大	会	副会長 ○ ○ ○ ○ (高野連副会長)